



令和 8 年度

板橋グリーンカレッジ

大学校 2 年生

講座一覧（前期）



# 令和8年度 板橋グリーンカレッジ大学校2年生 講座一覧（前期）

ねらい:2年生では、生涯学習を促進する多種多様なテーマについて、より専門的な内容を学び、教養を深めます。

会 場:グリーンカレッジホール(志村3-32-6)3階 教室1

講座番号	科目	日時	テーマ・講義内容	講師
1	メディア	<b>5月9日(土)</b> 10:00～11:30 <b>5月16日(土)</b> 10:00～11:30 <b>5月23日(土)</b> 10:00～11:30	<b>芸術とメディア – 映画作品からの考察 –</b> 映画が娯楽か芸術か、この問題解決は簡単ではありません。そこで、「メディア」の概念を使ったアプローチを試みます。「メディア」の言葉は本来「仲介するもの」(媒介)を意味します。仲立ちするなら、仲立ちされるものと仲立ちされたものの二つがあるはず。この図式を意識して映画作品が何と何を仲介しているのか、そしてそれが可能であるなら映画とは何なのか、このことを考察してみましょう。 ●5月9日:映画と美術のつながり、視覚のメディアから ●5月16日:映画と音楽のつながり、聴覚のメディアから ●5月23日:映画とメディア、そして映画はメディアであること	跡見学園女子大学 文学部 元教授  そえじま よしみち 副島 善道
2	文学	<b>5月12日(火)</b> 10:00～11:30 <b>5月18日(月)</b> 10:00～11:30 <b>5月25日(月)</b> 10:00～11:30	<b>フランス文学の現在地～ジャンルの垣根を超えて</b> 日本とフランスは、一世紀半にわたってお互いの文学を積極的に翻訳してきました。いまこの瞬間も、映画やマンガ、オペラやシャンソンなど、文学に着想を得た作品が作られ、受容されています。いま、フランス文学をめぐるどんな面白いことが起きているか、19世紀から現代までの作品をいくつか取り上げて、初読・再読のきっかけをつかみましょう。 ●5月12日:物語を映像にする:ユゴー『レ・ミゼラブル』とデュマ『モンテ・クリスト伯』 ●5月18日:「ことば」と「音楽」を結ぶ:ヴェルレーヌ「月の光」からアポリネール「ミラボー橋」まで ●5月25日:ヨーロッパを超えて世界に広がるフランス文学:カミュ『異邦人』とカメル・ダーウド『ムルソー再捜査』	青山学院大学 文学部 フランス文学科 教授  ふくだ みゆき 福田 美雪
3	法律	<b>5月13日(水)</b> 14:00～15:30 <b>5月20日(水)</b> 14:00～15:30 <b>6月3日(水)</b> 14:00～15:30	<b>はじめての相続講座 実例から学ぶ安心への備え</b> 相続は身近でありながら、思い込みや誤解でトラブルになることが少なくありません。法律改正も進む中、事前の準備や正しい理解が大切です。本講座では、相続の専門家である司法書士が実務の事例を交えながら、相続の基本から実際の手続きまでを分かりやすく解説し、自分や大切な人を守る知識を身につけていただきます。 ●5月13日:意外と知らない相続の基本的な知識を身につけます。 ●5月20日:相続発生前にできる準備と対策を学びます。 ●6月3日:相続発生後の手続きについて優先順位を整理して学びます。	さわべ総合司法 書士事務所 代表司法書士  さわべ じゅん 沢部 隼

講座番号	科目	日時	テーマ・講義内容	講師
4	絵本	<b>5月17日(日)</b> 10:00～11:30 <b>5月24日(日)</b> 10:00～11:30 <b>6月21日(日)</b> 10:00～11:30	<b>子どもの発達と絵本</b>  子どもの心の発達は環境との関わりを通して行われます。子どもの心はどのように育つのか、また絵本は子どもの発達や親子(大人と子ども)にとって、どのようなものであるかを、講義を通じて一緒に検証していきたいと思います。  ●5月17日:子どもの社会性の発達 ●5月24日:子どもの言葉の発達 ●6月21日:子どもと絵本	武蔵野大学 教育学部 幼児教育学科 准教授  いまふく まさひろ 今福 理博
5	歴史	<b>5月30日(土)</b> 10:00～11:30 <b>6月6日(土)</b> 10:00～11:30 <b>6月13日(土)</b> 10:00～11:30	<b>デモクラシーと国際協調を目指した近代日本</b>  近代日本は対内的にはデモクラシー(政党政治)、対外的には国際協調を基調とした国家づくりを行ってきました。近年の研究では、こうしたデモクラシーと国際協調は従来思われていた以上に強固であったと考えられています。それでは近代日本はいかにしてデモクラシーと国際協調を定着化させようとしたのか、そしてそれはなぜ結果として崩壊してしまったのか。考えてみましょう。  ●5月30日: 第一次世界大戦の衝撃と戦後秩序 ●6月6日: 政党内閣と国際協調外交の展開、1920年代 ●6月13日: 政党内閣と国際協調外交の崩壊、1930年代	帝京大学 文学部 日本文化学科 准教授  わたなべ こうた 渡邊 公太
6	福祉	<b>6月9日(火)</b> 14:00～15:30 <b>6月16日(火)</b> 14:00～15:30 <b>6月23日(火)</b> 14:00～15:30	<b>日本の社会福祉の歴史</b>  一口に「社会福祉」と言っても、各国の文化・習慣や宗教等によってその成り立ちや形成過程は様々です。本講義では、我が国の社会福祉の歴史の特徴を7つに整理してみました。「7つの特徴」を通じて、日本の社会福祉の歴史を一緒に理解していきましょう。  ●6月9日: イントロダクション～「社会福祉」とは何か～日本の社会福祉の歴史を理解するための特徴1 ●6月16日: 日本の社会福祉の歴史を理解するための特徴2～4 ●6月23日: 日本の社会福祉を理解するための特徴5～7	淑徳大学 人文学部 人間科学科 教授  ふじもり ゆうすけ 藤森 雄介

講座番号	科目	日時	テーマ・講義内容	講師
7	経済	<b>6月29日(月)</b> 10:00～11:30 <b>7月6日(月)</b> 10:00～11:30 <b>7月13日(月)</b> 10:00～11:30	<b>経済現象と応用経済学</b>  経済学に心理学の考え方を取り入れた行動経済学の講義です。従来の経済学に登場する人間は、コンピューターより賢く合理的なロボットのような存在でした。でも、現実の人間は時に不合理な行動をとります。本講義では、誰もが持つちょっと不合理な心のクセを、実験で明らかにしていきます。ココロがわかると経済も見えてくる！  ●6月29日：ココロの経済学① ー 行動経済学って何だろう？ ●7月6日：ココロの経済学② ー あなたの中のもうひとりの自分 ●7月13日：ココロの経済学③ ー ナッジ！世の中をステキにする仕掛け	大東文化大学 経済学部 現代経済学科 講師  おかだ ともひさ 岡田 知久
8	社会	<b>7月2日(木)</b> 14:00～15:30 <b>7月9日(木)</b> 14:00～15:30 <b>7月16日(木)</b> 14:00～15:30	<b>現代の日本における社会問題を理解しよう</b>  状態と活動の両方の視点から社会問題を理解したうえで、「児童虐待」「いじめ」「ワーキングプア」「介護難民」「孤独・孤立」「自殺」といった現代の日本における社会問題の関連性や背景を確認し、社会問題の解決に向けた方向性を考えましょう。  ●7月2日：社会問題とは何か。事例をもとに状態から理解しましょう。 ●7月9日：社会問題とは何か。事例をもとに活動から理解しましょう。 ●7月16日：社会問題の関連性を理解し、解決に向けた方向性を考えましょう。	法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニティ学科 教授  こうら あさこ 高良 麻子
9	芸術	<b>7月11日(土)</b> 14:00～15:30 <b>7月18日(土)</b> 14:00～15:30 <b>7月25日(土)</b> 14:00～15:30	<b>日本の妖怪文化を読み解く</b>  日本各地に伝えられてきた妖怪は、単に怖がられてきた迷信だというわけではなく、暮らしや感情、自然環境の在り方を映すものです。本講座では、口頭伝承やメディア資料を使用しながら、妖怪がどのように生まれ、語られ、現代に受け継がれているのかを考えていきます。  ●7月11日：そもそも妖怪とは何なのか、見ていきます。 ●7月18日：メディアに現れる妖怪の多彩さを知ります。 ●7月25日：現代も生きる妖怪について探ります。	大東文化大学 文学部 日本文学科 助教  ひろた りゅうへい 廣田 龍平

## <<後期について>>

後期は、10月～2月の間に9講座を実施する予定です。

### ・後期の科目（予定）

音楽、哲学、板橋学、健康、心理学、建築学、地理、天文学、科学